



9月



令和6年8月30日
横浜市立金沢小学校
校長 保科 優子

あつい 夏

校長 保科 優子

夏休みが終わり学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年の夏は災害級といっても過言ではないような酷暑でした。そんな中、夏休みの間、大きな事故やけがに関する報告が各ご家庭からなかったことにほっとしています。これも、子どもたち自身やご家庭、地域の皆様の、健康や交通安全への意識の表れと感謝申し上げます。いつもありがとうございます。

今年の夏は暑かったのですが、パリオリンピックも熱かったですね。新聞には毎日のようにメダルを獲得のニュースが一面を踊っていました。日本選手団は金メダル20個、銀メダル12個、銅メダル13個、合わせて45個のメダルを獲得。金メダルの数でもメダルの総数でも、海外で開かれた大会での最多数を更新しました。それ自体ももちろん素晴らしいことですが、そうしたメダルの数だけでなく、たとえメダルには届かなくても何かに一生懸命打ち込み、果敢にチャレンジしている姿にたくさんの勇気と感動をもらいました。

金沢小学校の学校教育目標は、「創り出せ Tomorrow わたしは Challenger」です。夏休み明け初日にあった朝会では、もう一度みんなで学校教育目標を確認しました。

夏休みが明け、冬休みまでのこの期間が、学校では最も長い期間になります。最も自分の力を伸ばしていける期間です。4年生以上の宿泊体験学習や遠足などをはじめとした様々な行事もあります。「こんな自分になりたい、こんなことをがんばりたい」といった自分の目標に向かって失敗を恐れず様々なことにチャレンジしてほしいですし、チャレンジしないと失敗すらできません。人は失敗からたくさんのことを学びます。一生懸命チャレンジしたうえでの失敗は、ある意味宝です。そして、私たち大人は、子どもたちが様々なことにチャレンジし、チャレンジしているからこそ悩んだり迷ったりしているようなときにも、子どもたちを信じて委ね心から応援していくことが大切なのだと思います。

これからも地域や保護者の皆様とのつながりを大切にしながら、皆様と一緒に、子どもたちのチャレンジを精一杯応援し、教育活動に取り組んでいきたい。そんなことを思った「あつい夏」でした。

9月もどうぞよろしくお願いいたします。